

## 那珂市議会 産業建設常任委員会記録

招集日時 令和8年2月17日(火) 午前10時  
招集場所 那珂市議会全員協議会室  
出席委員 委員長 寺門 勲 副委員長 小宅 清史  
委員 大和田和男 委員 笹島 猛  
委員 遠藤 実 委員 福田耕四郎  
欠席委員 なし

職務のため出席した者の職氏名

議長 木野 広宣 事務局長 会沢 義範  
次長 萩野谷智通 次長補佐 三田寺裕臣

会議に付した事件

- (1) 調査事項について 道の駅の運営の調査、検証について  
…要望書の内容を決定

議事の経過(出席者の発言内容は以下のとおり)

開会(午前10時00分)

委員長 皆様、改めまして、おはようございます。

本日は産業建設常任委員会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。  
ご連絡をいたします。

会議は公開しており、傍聴可能といたします。また、会議の映像を庁舎内のテレビに放送します。会議内での発言は、必ずマイクを使用し、質疑、答弁の際は簡潔かつ明瞭にお願いいたします。携帯電話をお持ちの方は、電源をお切りいただくか、マナーモードにご配慮をお願いいたします。

ただいまの出席委員は6名でございます。欠席委員はございません。定足数に達しておりますので、これより産業建設常任委員会を開会いたします。

職務のため、議長及び議会事務局職員が出席をしております。

ここで、議長よりご挨拶をお願いいたします。

議長 改めまして、おはようございます。

今回、15日、16日と遠藤委員におかれましては横手市に行かれまして、また16日におきましては寺門委員長、大和田委員が市議会議長会の研修会と本当に忙しい中、大変お疲れさまでございました。

また今日は、産業建設常任委員会、最後になりますので、寺門委員長のもと、しっかりと最後の要望書をまとめていただきますようお願い申し上げ、簡単でございますが、挨拶をさせていただきます。どうぞよろしくをお願いいたします。

委員長 ありがとうございます。

これより議事に入ります。

調査事項、道の駅運営の調査・検証についてを議題といたします。

執行部に提出する要望書について協議を行います。

前回の委員会において、委員間討議を行い、要望書の内容を修正することに決定をいたしました。修正案につきましては、ラインワークスで確認をしていただきましたが、内容について、改めて小宅副委員長からご説明をお願いいたします。

副委員長 執行部のほうにお出しをする要望書についての委員間討論を今日も行わせていただきたいというふうに思います。

それでは前回からの変更か所のみ読まさせていただきます。

3番の調査事項の中の(1)第三セクターの在り方についての調査結果でございます。

第三セクターの在り方については、中小企業診断士である勝山文久氏に依頼し、全国の道の駅の経営主体を調査していただいたところ、全国1,230のうち、31.3%は第三セクターによる経営であるということが分かった。

なお、JAや民間事業者が44.3%、直営が15.7%、財団法人が8.9%ということである。第三セクターの在り方、株主割合などはどう構成することが最もよいのか、今後検討の上熟慮していただきたい。

それから、飛ばしていただきまして1番最後、まとめの部分になります。

道の駅の運営は、那珂市における地域振興の推進及び観光施策の充実を図る上で極めて重要な役割を担う事業である。

その点を踏まえ、収支計画、運営形態については、将来にわたる市への影響を含め、より一層の検証と精査を行うことが求められる。また、その検討過程及び結果については市民への周知と理解を深めるための取組を継続していくことも必要である。

これまでに指摘してきた諸点を十分に踏まえた上で、那珂市における道の駅運営の基本的な方向性を明確に示し、将来にわたり安定的かつ継続的に機能する持続可能な運営モデルを構築されることを強く期待するというふうに書き直させていただきました。

変更点につきましては、以上です。

委員長 ありがとうございます。

説明が終わりました。

それでは、意見交換に入りたいと思います。

ご意見ございましたらお願いいたします。

笹島委員 第三セクターの経営のどこなんですけど、1,230の駅のうち31%、やっぱり3分の1が第三セクターによる経営であることが分かったと。

その他の7割はどういう形態でやってるんですか、これは。

副委員長 その他7割は下に書いてありますように、JAや民間事業者が44.3%。

笹島委員 J Aの事業者が約4割、そうすると直営が15%。もう財団法人が8%と。

このJ Aの民間事業者も結構多いということですよ。

副委員長 そうですね。

笹島委員 そうすると逆に言えばこの多いJ Aや民間事業者のほうの在り方に検討したほうがいいんじゃないかという趣旨はしないほうがいいのか。

副委員長 と思いますけど。

笹島委員 余計なことはあんまり余計なことをつけ加えないほうが良いと。

副委員長 今那珂市の執行部のほうで第三セクターでっていうような方向性を示しているの、一応そこに沿った形での要望書という形にしたほうがよいかという判断です。

笹島委員 なるほど。じゃ常任委員会としてはやっぱりそちらのほうでいいということはそこまで言ってないですよ。決めるのはあなたのほうですよっていう、そうですね。

要するに、3割は今言った第三セクター、44%が民間事業、あとは財団法人直営ということが一般的ですよ。だからお決めになるのはそちら様ですよっていう意味でいいんですか解釈して。

副委員長 お決めになるのはというか、今のところは執行部の方針としては第三セクターということでは、あくまでこちらとしては意見としては第三セクターがどうあるべきかということの意見をしていくべきかなというふうに考えております。

笹島委員 こちらの考え、意見というのはないわけだねそうすると、こちらの意見ってのは、民間事業主体だけでしたっけ。そういうことも話しはしてないですよ。

副委員長 前回もちょっと私のほうで申し上げましたけれども、ちょっと第三セクターの経営の在り方については、今委員会では踏み込めなかったというか、ちょっと調査まで入れなかったの、もし可能であれば次の委員会に託したいというような思いは前回述べさせていただいたとおりです。

笹島委員 それで間に合うわけですね第三セクター。メリットデメリット、直営のメリットデメリット、民間業者の云々っていうことは次の委員会に任せるということでそれは間に合うわけですね、これからは十分ね。

副委員長 お任せするというほどおこがましいことではないんですけども、次の委員会がやっていたらありがたいなぐらいの感じで捉えておいていただければと思います。

笹島委員 はい。分かりました。ありがとうございます。

大和田委員 ちょっと関連して第三セクターの話なんですけども、この要望書の中身はいいんですけど、株主割合はまだ分かってないんだよね。

副委員長 その辺はまだ、先ほど繰り返しになりますけど、今回の委員会では踏み込めなかったの、今後調査していただければありがたいなというところです。

大和田委員 そうですね。今後になっちゃうのかなと思います。というのもこの第三セクターになっちゃうともしかして民間事業者が割合が高いと我々がもう口出しできない状況に

なるし、逆に市が株主割が高ければ、逆にこの議会側にもいろいろと説明、今後の経営方針ですとか、できてからも株主としての報告っていう、議会に対する報告とかというのがオープンにさせていただきたいなというのがちょっと。これ先か先の話かなと思うんですけど、第三セクターのほうの準備委員会も含めてオープンにさせていただきたいというのはちょっと要望に入れても、やっぱりこの先かなと思うんですけども。

副委員長 本当おっしゃるとおりで、民間事業者の株主割合が高くなれば、確かにオープンにされることがないまま進むという可能性は非常にあると思います。逆に、市のほうが大株主として、絶対的3分の2を持ってるところを進めるのもやっぱり、そうすると事業者の何かモチベーションも上がらないなど、そういったこともあるかと思うので、どこが1番ベストなのかっていうのはもうちょっと調査をしていただいてその上で要望なり申入れをしていただくような形にさせていただいたほうがいいかなというふうに思っております。

大和田委員 分かりました。

遠藤委員 そうですね。三セクに関しては資料の文言ではないんですが、議事録に残しておいてもらうといいなと思うのはやっぱり農業者の方と話合いでもちょっと出たと思うんですけど、今市のほうで検討委員会三つ持ってやっていますよね。道の駅のそもそもの在り方の検討とあと三セクの検討と出荷者組合の検討委員会に多分同時してやってると思うんですよ。それっていうのが、農業者の方も内容がよく知らされてないとかっていう、聞いたこともあったかに覚えているし、我々議員にもこの検討委員会の内容ってあまり知らされてないと思うんですよ。だからそれぞれがどういうふうな検討をどこまでどうやってるのかっていうのがちょっとあんまりオープンになってないというふうに感じますので、今後、道の駅に向けて進めるのであれば、そういう検討委員会もあるのであれば、それやっぱり議会ともそういう何か意見交換であったり、もしくはそれがなかなか難しいようであれば執行部からもっと今の検討委員会の検討内容をしっかりと説明してもらおうとか、報告してもらおうとか、そういう必要はあると思うんですよ。

それをちょっとこの文言どう出るとか入れるかそのものはちょっと別として、我々もこの調査が終わる段階として、そういう意向は議会としても声はあるということは多分、話をしておいたほうがいいなと思いますのでそこら辺についてはどう思います。

副委員長 確かに生産者組合とお話したときに、私らは話してるけれども、その横のつながりがやはり分からないと、ないというような話がありました。

そういった中で私たち議会もその検討委員会でどういう話がなされてるかという、J Aと金融団と商工会と、あとは民間事業者ですか。それで作られてるその準備委員会、ここの議事内容というのは、途中までは何か見れたような気がするんですが、最近のものはちょっと私も目を通していないので、そういったことが、どういったことが話し合われて決まったのかというのは、委員会として、今後見ていく必要もあるかと思えます

し場合によっては、執行部からの説明を求めるといったことがあってもいいのではないかなというふうには思っております。

ただ、今回の要望書に入れるというよりは次の委員会のほうでそれを引き継いでいただいて、今の遠藤委員の意見を引き継いでいただいて、そういうふうなことを申入れしていただければいいのかなというふうに思いますが、いかがでしょうか。

遠藤委員 そうしたことなんだろうというふうに思います。

道の駅に関しては今回がまさしく3度目の検討というか、もう20数年前に一度やりましたよね。三セクでやろうと。当時はまだ町だったかな、町、商工会、JAの3者一体でやろうっていうのは検討されてたと思いますが、その方々を議会にお呼びして話聞いたこともあるように覚えているんですよ。ただ、それがなぜ頓挫しちゃったのか。何か僕の憶えで何となく最終的に何かあったときの責任の所在、どこが責任持つんだというようなときに、なかなかその折り合いがつかなかったような感じがしているんですよ。そこらの過去のいろんなその検討で最終的になぜ頓挫しちゃったのかっていうのはやっぱり今後進めていく上でも、やっぱりしっかり精査した上で、過去の反省を踏まえて、やるならやる方向でちょっと進めていかないといけないかなというふうに思うので、そういったところは、ちょっとこういう議会の委員会の場を出しておきたいと思えます。

あとその文言についてですが、最後のまとめの部分で、いろいろと私もちょっと提案させていただいておりましたんで、おおむねざっくりいろんな形で入れてもらってこれは感謝したいと思いますが、まとめの上から4行目ぐらいからでいきますと、また検討過程及び結果については市民への周知と理解を深めるための取組を継続していくことも必要であるとありますが、周知は決まったことをお知らせしていくよってということだと思うので、その過程とかその検討の段階の過程と結果を周知していくっていうことは分かる。これでいいかと思うんですが、あと理解を深めるための取組っていうのは急にぼっとアバウトになっちゃってるんで、理解を深めるための例えば説明とか、説明をやっぱり継続していくことが必要だろうと僕は思うので、この取組を説明に変えるだけでもやっぱり意味はあるかなと思うもんですから、周知と説明、そういった過程と結果についての説明はやっぱり継続してほしいなというふうに私は思うので、この取組を説明に代えていただければと思いますけれどもいかがでしょうか。

委員長 ただいま遠藤委員のほうから、取組のほうを説明ということで、ご意見ございましたが、皆様方のご意見を伺いたいと思います。

大和田委員 取組の中に説明を入れられると言えば入れられるし、アバウトだと言われればと思うし、どうなんでしょう。理解を深めるための取組。説明も入れられるような気もするし、そのほかに取組として見ると、何があります。悩ましいです。

遠藤委員 まとめ4行目から5行目のとこですね。もう1回言いますと、またその検討過程

及び結果については、市民への周知、理解を深めるための取組を継続していくことが必要だと書いてありますが、検討しているその段階段階でこういう検討した結果こうですよってというのは、市民へ周知ってというのは広く知らしめるってということなんで、今のとここういう検討なんですよっていうのを周知していくのはこれはこれでいいと思いますが、理解を深めるための取組がすごく急にぱっとアバウトになっちゃうんで、やっぱり必要なのは説明だと思いますね。理解を深めるための説明を継続することが必要だと思いますから、周知と説明、また周知と説明だというふうに思うので取組を説明に変えてまとめてはいかがかなというふうなご意見です。

笹島委員 確かにこれの理解を深める取組、これ意味不明だね。だから、やっぱり今言ってたとおり理解含めての説明をしっかりとやるべきだということをしちんと、ここでちょっとここ直したほうがいいかもしれないね。理解を深めるための取組。俺もそう思う。

副委員長 私はちょっと広い意味で取組っていうふうに入れたんですけど、説明ももちろんそうですしあとワークショップですとか、あとは市内のキャラバン活動とかそういったことも含めての、市民に理解していただくための説明、取組というようなことで取組という言葉を使わせていただきましたが、この委員会の意見だと思うので、それは、皆さんの意見を集約した形で入れられればなというふうに思っております。

笹島委員 今言ってた、簡単に取組じゃなく説明っていうだけちょっと変えればいいことで、これでお話終わるんで、いかがでしょうか。

(複数の発言あり)

笹島委員 取組を説明に直すってのは皆さん賛成です。

委員長 そういったご意見が多いようですけども、皆様よろしいでしょうか。

(「それをお願いします」と呼ぶ声あり)

委員長 そのような形に進めます。よろしく願いいたします。

ほかにございませんか。

よろしいでしょうか。

(なし)

委員長 ありがとうございます。

それでは、意見交換を終わります。

それではこの内容で、2月25日に要望書として執行部に、提出することよろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ声あり)

委員長 ありがとうございます。

それでは、そのように決定をいたします。

本日の案件は、全て終了いたしました。

以上で、産業建設常任委員会を閉会いたします。

ご苦労さまでした。

閉会（午前10時21分）

令和8年3月2日

那珂市議会 産業建設常任委員会委員長 寺門 勲